

最新MRIを使用した新たな検診メニュー

AI脳ドック

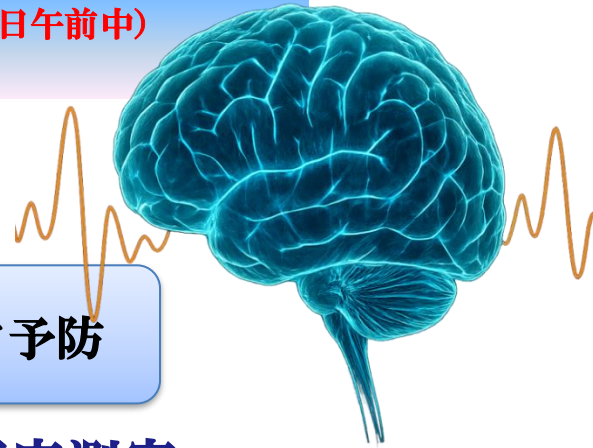
令和8年1月17日からスタート
(第1.3.4土曜日午前中)

人工知能 (MVision health) ※を用いて
脳の健康状態を可視化

早期発見

脳の健康評価

リスク予防



AIによる脳萎縮・脳血管健康度測定

従来の脳ドック

内容

診察 (問診) ・ MRI ・ MRA 検査
・ 頸動脈エコー ・ 採血検査
○ 脳動脈瘤 ○ 脳腫瘍
○ かくれ脳梗塞 ○ かくれ脳出血

AI脳ドック (検査料金 22,000円 (税込))

内容

MRI ・ MRA 検査 (診察なし、検査のみ)
○ 脳動脈瘤 ○ 脳腫瘍
○ かくれ脳梗塞 ○ かくれ脳出血
+ ○ 脳萎縮
○ 白質病変 (脳血管の健康度)

申込・検査の流れ

① 申込

お電話でご予約を賜ります。

TEL: 0774-72-7210 受付時間: 平日13時から16時30分

② ご案内の送付

予約日の2週間前までに、予約日時・持ち物などの案内を郵送いたします。

③ 受診当日

土曜日のため、時間外受付にご来院ください。

受付後、放射線科受付⑩をご案内をいたします。

MRI室にて検査終了後、時間外受付でご精算をお願いいたします。



時間外受付



放射線科受付⑩



MRI検査室



時間外受付

④ 結果発送

2～3週間後に結果を発送いたします。

結果については、検査のみの検診のため、診察・結果説明はございません。
ご本人で結果のご確認をお願いいたします。

検査上の注意事項

次の項目に該当する方は、MRI撮影ができない場合があります。

- ・心臓ペースメーカー、除細動装置など金属を埋め込んでいる方(条件付きペースメーカー含む)
- ・頭部に何らかの金属が入っている方(脳動脈瘤クリップ、コイル、義眼、人口内耳、VPシャント等)
- ・その他、体内に材質が確認できない金属を埋め込まれている方
- ・妊娠中、もしくは妊娠の可能性のある方
- ・アートメイク(アイライン・眉毛)をされている方
- ・エクステやネイルを装着されている方

脳の健康管理、はじめてみませんか？

自分の脳の健康状態を知っていますか？

これまでの脳ドックでは、主に脳腫瘍やかくれ脳梗塞、かくれ脳出血が調べられていました。

AI脳ドックでは、MRI検査と画像解析AIを組合わせて、認知機能と一定の関わりがあるとされる

「脳萎縮」「脳の白質といわれる部分の変化」(脳血管健康度)を調べることができます。

自分の脳の状態を知り、認知機能に悪影響を及ぼす要素を避けて健やかな生活を送りましょう。

Q. 脳ドックと何が違う？

脳ドックは「重篤な疾患の早期発見」を目的としているのに対して、

A I 脳ドック は「病気になる前段階の脳の健康状態」を評価することを目的としています。

従来の脳ドックでは測定が難しかった脳の体積・血管状態がAI技術により数値化可能になりました。

Q. 検査を受けるのにどうすればいいの？

健診センターにお問い合わせください。

直通電話：0774-72-7210 受付時間：平日の13時から16時30分

Q. A I 脳ドックで認知症がわかりますか？

認知症かどうかの診断は、ご本人への問診、ご家族からの聞き取り、問診票を用いた神経心理検査などにより行われます。

したがって、画像検査のみのA I 脳ドックでは、認知症かどうかの診断はできません。あくまで、認知症になる前の段階での脳の健康状態を調べる検査です。

物忘れ、判断力・理解力・集中力の低下、性格や感情の変化など、認知症が疑われる症状がある場合は、脳神経内科の受診をおすすめします。

Q. 検査は一度だけ受ければいいのか？

脳の状態の推移を把握するために、2～3年に一度の継続的な受診をお勧めしています。CTと異なり被ばくはないため、毎年受けていただいても構いません。

※MVision health は、米国ジョンス・ホプキンス大学が開発した高精度AI技術です。

さらに、約3万件超の日本人の脳画像データに元づき脳健康状態を解析します。(委託先：株式会社エム)

MVision health の詳細
については、[こちらから](#)

